

# 令和4年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

大阪市立南恩加島小 学校

児童数

48

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	17.00	17.62	29.10	37.43	40.95	9.88	144.00	20.24	48.74
大阪市	16.11	18.44	33.14	38.26	42.95	9.59	148.22	20.07	50.83
全国	16.21	18.86	33.97	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
女子	18.06	19.63	38.74	38.33	39.26	9.46	138.72	16.53	56.28
大阪市	16.01	17.55	38.00	36.50	34.13	9.76	140.76	12.77	52.65
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31

### 結果の概要

男子は、「握力」「ソフトボール投げ」を除く8種目中6種目において大阪市平均を下回った。「20mシャトルラン」は、大阪市平均、「握力」は全国平均を上回る結果となった。体力合計点については、大阪市・全国平均を下回る結果となった。女子は、「立ち幅跳び」以外は、大阪市平均を上回った。「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「20mシャトルラン」「50m走」「ソフトボール投げ」については、全国平均を上回る結果となった。また、体力合計点については、全国平均を上回る結果となった。

児童質問紙の質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」について肯定的な回答をした児童の割合は、男子90.5%、女子79.0%であった。男女ともに、全国、大阪市平均を下回る結果であった。

1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合は、男子は14.3%、女子は0%であり、男子については、全国平均の割合より大きくなっている。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

昨年度に引き続き体育の学習の時間にできること（運動時間・量の確保等）を意識して、運動を楽しむ授業実践に取り組んできた。授業では、運動量を考えながら目標設定と振り返りを行い教材・教具の工夫することで、限られた場所での効果的な指導を行ってきた。

休み時間は、距離を保ちながら遊べる集団遊びを多く取り入れて運動量を確保しながら少しでも楽しく運動できる環境をつくってきた。

しかし、意識調査から男女でスポーツに対する意識の違いや運動量の違いが浮き彫りとなった。男女ともに、体を動かすことの楽しさや有用性を意識できるように体育の学習や、休み時間の活動にめあてをもった取り組みを進めていきたい。

学校生活全般で、体を動かすことの興味関心の向上を目指して、遠足や校外学習、集会活動の中で運動量が増やせる機会を増やしていく。また、運動への興味関心を高めるためにスポーツ選手による特別授業などを企画し運動への楽しさや興味関心を高めていきたい。